

まなびのトビラを開くおもちゃ箱 ～ Junshin で遊びながら保育を学ぶ～



こども学科長 教授 塚越 亜希子

「まなびのトビラを開くおもちゃ箱」という言葉には、Junshinが大切にしている2つの想いが込められています。

1つ目は子どもの育ちにおける「あそび」の大切さです。子どもにとって「あそび」とは、「面白そう!」「やってみよう!」と感じたもの(こと)すべてです。子どもたちは、自分の「おもちゃ箱」に見つけた「あそび」を詰め込んでいき、その中で言葉を使い、身体を動かし、失敗や工夫、挑戦を重ねながら、育ちに必要なさまざまな力を身につけていきます。その姿は、まるでおもちゃ箱の中のおもちゃで遊びながら、一つひとつ「まなび」のトビラを開いていくようであり、乳幼児期の「あそび」が「まなび」と深く結びついていることを、この言葉は表しています。

2つ目は保育者をめざす学生にとって自然豊かで遊び心あふれるJunshinの環境は「まなびのおもちゃ箱」であり、学生たちにこのおもちゃ箱のような環境の中で保育者としての「まなび」のトビラを開いて欲しいという想いと願いを表現しています。

子どもの育ちを支える保育者に求められるのは、子どもの気持ちに寄り添い、「あそび」の中にある育ちの芽を見つけ、その「あそび」をより豊かにできる感性と実践力です。そのためには、子どもの「あそび」を知り、実際に「あそぶ」ことで子どもの世界を体感する経験が必要不可欠になります。このような経験を通してこそ、子どもの育ちを理解し、支えるための保育者としての土台が築かれていくとするならば、Junshinはまさに「まなびのトビラをひらくおもちゃ箱」と言えるのです。

Junshinでの2年間は、保育に関する知識を学ぶだけでなく、子どもと向き合う姿勢や保育者としての心を育む大切な時間です。「遊びながら学ぶ」ということは、実際に「あそぶ」ことによって「あそび」の本当の価値に気づき、その中にある子どもの可能性を丁寧にみつめること。そして、それこそが保育者として最も大切な力を育む「Junshinならではの学びのカタチ」なのです。

砂場づくり

黒ピカのどろだんごつろう

家政部&有志の学生と教員が協力し合い、おきな砂場を作りました! このお砂場で、黒ピカの「どろだんご」を作る予定です。どうしたらピカピカのどろだんごになるのか? 何で磨いたらピカピカになるのか? みんなで研究する予定です。

「どろだんごコンテスト」も開催したいと思っています!

いつか、地域の子もたちや、お世話になっている園の皆さんと一緒に、お砂場で遊べたらいいなあと、今からワクワクしています。

あそび × 環境



Junshin 2025 童話コンテスト 作品募集中です!

埼玉純真生と高校生みなさんからの作品を大募集!

コロナ禍の2020年に「得意分野を生かして自宅で取り組むことを!」とスタートした「Junshin童話コンテスト」は、今年で6年目。2023年に広島県の高校生がグランプリを受賞したことに続き、昨年は東京都、三重県、宮崎県、福岡県の高校生からご応募いただきました。全国的な広がりを見せつつあり、たくさんの良い作品に出会える期待と喜びは年々高まるばかりです。純真生のみなさん、高校生のみなさんからのご応募を心よりお待ちしております!

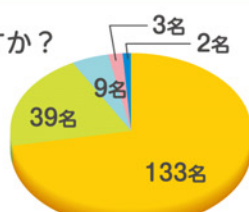


詳細はコチラ

学生アンケート

Q. 本学の学食はいかがですか?

- 満足している
- まあまあ満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- 満足していない



- ガバオライス
- タコライス
- 唐揚げ
- 担々麺
- オムライス
- 揚げナスうどん

オープンキャンパス
お誘いのメニュー

2024年度調査 【回答数】186名 1年生 84名/回答数75名 2年生 128名/回答数111名

埼玉純真短期大学

まなびのトビラを開くおもちゃ箱
あそび × Junshin
めざせ! 幼児教育スペシャリスト

埼玉純真短期大学

2025 SUMMER



スポーツ大会開催!

4月25日(金)羽生市民体育館

メインテーマは「猪突純真〜ドキドキわくわく大集合〜」

種目は「なにで運ぼう」「運試しリレー」「綱引き」「障害物リレー」「玉入れ」「全員リレー」「ゼミ対抗種目の大縄とび」で全力で競技に挑んでおり、体育館が熱気に包まれ各クラス優勝を目指し、笑顔や声援が絶えない1日となりました。



ディズニー学外研修

おもてなしとホスピタリティを学ぶ

あそび × まなび

1年生は5月30日から31日の日程で、1泊2日の学外研修へ行ってきました。

キャストやスタッフの方々がどのようにして子どもたちとふれあうのか実体験で学びを深めました。

またグループで取組む研修や宿泊を通してコミュニケーション能力や協調性を身につけました。



オープンキャンパス日程

・オープンキャンパスは状況により変更となることがあります。必ず本学ホームページにてご確認ください。
・過去のオープンキャンパスの様子はInstagramで公開しています。

夏のスペシャルオープンキャンパス	夏は忙しい方々からの	夏祭りオープンキャンパス	入試スペシャルオープンキャンパス	クリスマスオープンキャンパス	1/2	2/11
7/26± 27日	8/2± 3日	8/23± 24日	9/7日	9/20±	10/5日	12/13±
						1/25日
						2/11水祝

埼玉純真短期大学

編集: 入試広報係
TERASU340

〒348-0045 埼玉県羽生市下岩瀬430番地 TEL.048-562-0711
e-mail:request@sai-junshin.ac.jp https://www.sai-junshin.ac.jp



OC予約フォーム

保育実習指導

グループワーク

保育実習指導Ⅰの授業でグループワークをおこないました。

それぞれ、考えてきた制作を模擬授業として、学生同士保育し合いました。

実習に活かせるといいと思います。



実習前にしっかりと知識・技術を身につけます！

乳児保育

衛生管理と調乳

乳児保育の授業で調乳の練習をしました。保育実習に向けて、正確にミルクを作れるように練習を重ねています。



あそび
地域

高大連携授業

誠和福祉高校

5月15日(木)、誠和福祉高校のみなさんが授業体験に来てくれました。人形を使った乳児の入浴や遊び道具の制作等を体験。

オープンキャンパスでまたお会いできることを楽しみにしています！



あそび
地域

出張授業

足利大学附属女子高校

6月13日(金)、足利大学附属女子高等学校にて出前授業を行いました。

今回の授業は、大学で実際に科目としておいている「保育原理」で、保育の意義や目的、法令及び制度を理解することからスタートしますので、少し難しいと感じたかもしれませんが、みなさんととても真剣に話を聞いてくれていました。

次回は、大学に来ていただく予定です。またお会いできることを楽しみにしています！



先生と話そう

意見交換会開催

6月13日(金)と20日(金)の2日間にわたり、先生と学生の意見交換会を開催いたしました。

学生が日頃感じていることや、要望など、気軽にお話しをすることができました。

教員もたくさんの意見を聞くことができて、学生目線の意見というのは大切だと改めて感じました。

みんなの声で増設しました



お昼のときに電子レンジとポットが混み合っているという声がありましたので、その日のうちに設置場所や台数を増やしました。

食堂に大学への意見箱がございまして、いつでも意見を届けてください。お待ちしております！



ご意見はこちらへ！

ふるさと学

地域の知識と理解を深める授業

川越市



小江戸川越を巡りました！

ガラスコップの制作や、氷川神社では事前授業で学んだ手水の知識を発揮したりと蔵造りの街並みを巡り、小江戸川越を満喫しました！
ガラスコップは後日郵送され、授業でお茶を飲み楽しみました。

心が洗われますね！

加須市



加須市の龍興寺ご住職をお招きして若い世代でも密かなブームの素敵な御朱印を制作しました。

行田市



世界にひとつ！



成田長親さん(のぼさん)と武蔵野ユニフォームの小松先生に来ていただき、行田市名産の足袋作りを体験しました。

羽生市



羽生市学芸員である、高鳥邦仁氏に「羽生市の文化と歴史」の講義を行っていただきました。様々な歴史や、伝説などがあることを知ることができて、とても興味深い講義でした。